

日 に あ ら た に



札幌市立日章中学校
学校便り 第 501 号
令和 8 年 1 月 23 日発行
TEL831-6196 FAX831-2754
<https://www.nissho-j.sapporo-c.ed.jp>

◇ 1 学年 ボランティア活動

『 スノーキャンドルボランティアのねらい 』

生徒会副会長

スノーキャンドルボランティアは、「阪神淡路大震災での被災者の方々を偲び、追悼しよう」という意味があり、日章中学校では伝統として先輩方から受け継ぎ、活動を行っています。今後も私たちが行う活動が受け継がれていくことでしょう。2018年に北海道で起きた胆振東部地震では震度5強を記録しましたが、31年前の1月17日に起こった阪神淡路大震災はそれをはるかに上回る震度7の大地震でした。大規模な被害が出て、6434人もの尊い命が失われたことを知って、皆さんはどのように思ったでしょうか？このボランティア活動の中でキャンドルや雪像作りを楽しむことも大切ですが、毎年この時期を迎えたら、被災者を追悼する気持ちを忘れないでほしいと思います。



◇ スノーキャンドルボランティアを振り返って

『 スノーキャンドルボランティアをやってみて思ったこと 』

1年1組 代表生徒

私はスノーキャンドルボランティアをしてとても寒かったです。約 30 分外にいただけで寒かったのに、地震が起きた地域では 24 時間以上寒い中避難して、寒い避難所で過ごしていたら、とても寒かったと思います。札幌より兵庫県のほうが気温は高いけど寒さで亡くなってしまう人がたくさんいたから、札幌で同じ時期に地震などの災害が起きてしまったら阪神淡路大震災より大変だと思ったし、亡くなってしまう人が多くなると思うから避難訓練や、家の防災リュック、避難経路をしっかりと確認することが大切だと思いました。

『 スノーキャンドルボランティアで感じたこと 』

1年2組 代表生徒

私がスノーキャンドルボランティアで学んだことは2つあり、1つ目は被災した方々への思いです。私はその頃にはまだ生まれておらず、どんなに辛かったかは分かりませんでした。でもキャンドルを作っているときや、地域の方の話を聞いていくと、とても辛い出来事なんだと思いました。2つ目は、完成したときの達成感です。私はスノーキャンドルを作って、「ピース」という文字に並べ、最後にみんなで写真を取ったときに「作ってよかったな」と思うことができました。キャンドルづくりはとても楽しかったし、とてもいいボランティアにすることができました。

『 スノーキャンドルボランティアを終えて 』

1年3組 代表生徒

スノーキャンドルボランティアは阪神淡路大震災での被災者の方々を偲ぶために行っていることを知り、より一層真剣にやろうという気持ちが出てきました。僕はスノーキャンドルの担当でしたが、作り方を覚えていたので他の班員とうまく共有出来てよかったと思います。そしてみんなで協力できてより一層、仲が深まったし楽しくできてよかったです。また、楽しみつつもみんな真剣に活動することができていたので良かったと思います。来年のボランティア活動も真剣に楽しくやっていきたいです。



『 スノーキャンドルボランティアを終えて 』

1年4組 代表生徒

僕はスノーキャンドルボランティアで阪神・淡路大震災で被災した人たちを追悼する気持ちが大切だということを改めて思いました。僕はキャンドル作りを担当しました。震災ではたくさんの方がなくなったのもう起こらないでほしいと思いました。自分たちにできることをしていきたいと思いました。

『 スノーキャンドルボランティアから得たもの 』

1年5組 代表生徒

この行事を終えて、阪神大震災や他の災害について調べて災害の怖さや大変さが前よりも現実的にわかりました。それに、スノーキャンドル作成の班活動ではお互いに話して交流ができました。私が年長くらいの時に起きた大きい地震の時も、8階から家の前の公園の水道まで水を汲みに行ったり、銭湯に行ったり、8階まで階段を上るなど、とても大変だったと覚えているけれど、阪神大震災や東日本大震災の時はもっと大変だったんだなあと感じました。また、復興作業の期間が考えていたよりも長いということを知りました。これからも、今回のこのような機会を経験して、もっといろいろなことを知ることができるといいなと思いました。

『 たのしかったスノーキャンドルボランティア 』

1年7組 代表生徒

雪をいれるのがたのしかったです。雪にみずをいれたらきれいでした。雪をつぶすのがおもしろかったです。朝しゃしんをみたらすごかったです。つくったときにおいたらきれいでした。手がびしょびしょになって、つめたかったけど、たのしかったです。またゆきであそびたいです。

